

本時のねらい

近鉄河内国分駅を中心にとの方角にどんな地形が広がり、どんな建物があるかについて知り、国分地域の特色を表すキャッチフレーズを考える。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

「展開」場面において、Google Mapの航空写真機能を用いて、主要駅を中心にとの方角にどんな地形が広がり、どんな建物が集まっているのかを概観するために端末を活用する。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Google Map

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○地図の方位について確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・指や体全体を用いて正しい方位を向く。 ○めあてを確認する。 「国分地区のキャッチフレーズを考えよう。」 ・目的意識を、調べたことをもとに地区のよさを宣伝することがねらいであることを共有する。 	
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○柏原市全体の地図を使って、国分地区の範囲を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・大和川より北側は他地区であることを確認する。 ・県境は白い点線で区切られていることを確認する。 ・石川より西側、旭ヶ丘小学校より南側が他市であることを確認する。 ○「Google Map」を用いて、どんな地形で、どんな建物が集まっているのかを個人で調べ、白地図に記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「家」「田畑」「工場」「山」「店」を色別々に記入する。 ○国分地区の特色をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「○○の方角に□□が集まっている。」等の発表を通して、国分地区の概観をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前のスクリーンで調査範囲を共有する。 ・航空写真機能で概観させる。 ・ストリートビュー機能でより詳細なものも見つけることができる。 ・端末を使って調べたことを紙の白地図にアウトプットする ・タッチペン操作による、白地図記入で大まかな特色をスクリーンを使って全体で共有する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○国分地区のキャッチフレーズを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・国分地区について、どんな人に、どんなことをアピールしたいのかをまとめる 	

1人1台端末を活用した活動の様子



「写真1：1「Google map」を活用している場面



「写真2：航空写真機能」から分かったことを白地図に記入している場面



写真3：見つけた地区の特色を発表している場面

児童生徒の反応や変容

○体験活動が制約されるなか、Google Mapの活用により、実体験したような感覚で学習を進めることができた。また、ストリートビューの活用により、様々な発見もあり、児童の自分の住む町に関する関心が深まった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

○航空写真機能は町の大まかな自然・土地利用を調べるのに有効な手段で、訪れたことのない都道府県や外国の土地利用の特色についての調べ学習へと応用できる。ストリートビューについては、プライバシーの配慮など、教員の適切な支援のもとで活用すると、地図で町の様子について興味を持ち、視野を広げるのに有効だと感じた。